

凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ
多治見西高等学校附属中学校だより No.1
2018/5/10 (木) 発行

意欲ある平成30年度がスタートしています

校長 田口 明

今年度より附属中学校でお世話になることになりました。微力ですが一生懸命に生徒を支援したいと思きます。よろしくお願ひいたします。

今年度がスタートして約一か月、私には多くの意欲ある姿が目に見えてきます。授業に仲間と共に真剣に立ち向かう姿。行事（理科ウォーク・野外オリエンテーション）に楽しく親交を深める姿。生徒会や係の活動に責任をもってやり切る姿等、新しい学年を充実したものにしようとする活力が伝わってきます。

意欲ある活動の一つとして朝読書の姿を紹介します。他の学校でも行われていますが、西中の朝読書は質が違います。登校後時間前でも準備ができた生徒から読んでいる姿も多くみられます。本の題名を見せてもらくと、小説・伝記・歴史小説が多いですが、中には、科学や産業、情報の分野も読んでいます。1年生が「気になる化学の基礎知識」という本に興味深げに読んでいる姿には感心しました。

読書の有用性は、情報化で社会が複雑になっている今でこそ重要性が叫ばれています。独立行政法人国立青少年教育振興機構の調査では、子どもの頃に読書活動が多い人ほど下記のような傾向があるという調査結果を発表しています。

〔未来志向〕 努力すれば夢が叶うと思う。私には将来の夢があると考えている。

〔社会性〕 交通規則など社会ルールは守るべき。近所の人に挨拶できる。

〔自己肯定〕 自分のことが好き。毎日の生活に満足している。

〔意欲・関心〕 何でも最後までやり遂げたい。

〔文化的作法・教養〕 お盆やお彼岸に墓参りに行くべき。色々な事に興味がある。

〔市民性〕 生徒会や委員会に立候補する。地域の行事に参加したい。

〔理論的思考〕 複雑な問題について順序立てて考えるのが得意。



読書に親しむ習慣がある人は、周りの人たちと協力しながら前向きに明るい生活をしようとしている傾向が強く、充実した生活に結び付くと考えられます。今後も急速に社会が変化していきます。価値観もますます多様化します。そんな中でも、自分を見失わず、正しい判断ができ、仲間と共に前向きに生活できる為の一助になります。

生徒たちが、短い時間でも本を開いている姿を多く見ます。自分が読みたい本を家から持ってくることも良いことだと思います。国語科の教師も更に読書活動が充実できるよう、中学校時期に出会っておきたい本も紹介する準備をしています。

5月の主な行事予定

14日 (月) 1年保護者懇談～25日
16日 (水) 内科検診
19日 (土) 第1回学校見学会
21日 (月) 自主学習会7限
22日 (火) 自主学習会7限

25日 (金) 自主学習会
28日 (月) 3限授業
29日 (火) 中間テスト
30日 (水) 中間テスト
31日 (木) 中間テスト

6月の主な行事予定

1日 (金) 命を守る訓練
2日 (土) 地域清掃ボランティア
3日 (日) 第1回英検
12日 (火) 薬物乱用防止教室
15日 (金) 第1回漢検

16日 (土) 第2回学校見学会
21日 (木) 歯科検診 3年生保護者対象
高校説明会
30日 (土) 多治見市中体連 4限授業